

令和元年度

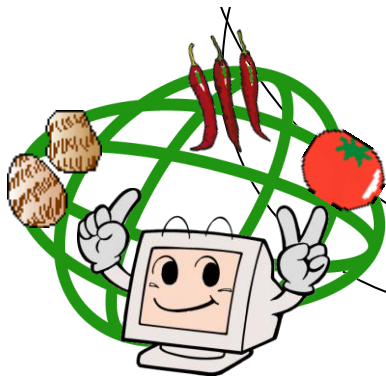
かんぼる地域サポート事業 活動事例集



地域の未来を考え、
行動していきたい



地域を支え合うための
新しい組織を立ちあげた



地域の資源をもっと
知ってもらいたい!



みんなが楽しめる
空間を作りたい!

中津川市役所 定住推進部 市民協働課
TEL 66-1111 (内線326)

～ 目次 ～

■絆づくり部門

No.	地区	団体名	事業名	代表者名	ページ
1	中津東	子野区歴史勉強会	子野区歴史勉強会事業	原 逸郎	2
2	中津南	中村区NMR23	中村区 マロンパーク商店事業	足立 稔	4
3	中津南	中村区子育てサロン	中村区 子育てサロン事業	前岡 雅章	6
4	中津南	四ツ目川の桜と環境の会	四ツ目川の桜と環境の整備事業	柘植 龍雄	8
5	苗木	苗木城跡・苗木遠山史料館友の会	苗木城跡を核とした苗木の歴史伝承事業	傍島 善雄	10
6	苗木	苗木地域まちづくり推進協議会 夜明けの森委員会	夜明けの森活性化事業	佐々木 孝	12
7	坂本	坂本をもっと盛り上げよう会	リニア時代を迎えて「みんなで坂本を盛り上げる事業」	篠原 郁郎	14
8	坂本	坂本交番友の会	坂本交番友の会発足10周年記念誌作成事業	可知 忠勝	16
9	坂本	つるし雛講座 花ごよみ	中津川のつるしひなまつり事業	谷口 美津子	18
10	坂本	命をつなぐ森づくりの会	命をつなぐ森づくり事業	田中 孝一	20
11	落合	落合マレットゴルフ愛好会	マレットゴルフの普及を通して 高齢者の居場所と健康づくり事業	井口 篤	22
12	阿木	阿木村づくり塾	阿木の個性の掘り起こしと魅力発信事業	鈴木 利之	24
13	阿木	子ども見守り活動「みちくさ教室」	子どもの放課後居場所づくり事業	鈴木 裕実	26
14	神坂	馬籠地域づくり推進協議会	竹あかりプロジェクト事業	大脇 和人	28
15	坂下	パンジー坂下	中高年のためのなるこ踊り事業	宮下 邦子	30
16	坂下	乙姫桜を守る会	乙姫桜を守る関連事業	原 一巳	32
17	坂下	みやさか活性化協議会	みやさか花街道整備事業	安江 貞夫	34
18	川上	川上もみじ守り隊	県下一のもみじの里を目指す活動事業	鎌田 康三	36
19	加子母	日赤奉仕団加子母無線分団	アマチュア無線による地域活性化と防災のための ネットワーク構築事業	伊藤 義彦	38
20	加子母	はっぴーたーん	地域を創るママカ向上事業	小島 未来	40
21	加子母	加子母軽トラ朝市実行委員会	加子母軽トラ朝市推進事業	熊澤 博志	42
22	付知	BLACK BEE CLUB	ハイバチで地域づくり ～食文化を次世代に繋ぐ～事業	早川 利廣	44
23	付知	付知サイクリング大会実行委員会	～森林をかけぬけろ～ 付知サイクリング大会事業	三浦 秀一	46
24	福岡	秀吉の切り株保存会	秀吉の切り株保存事業	駒田 義明	48
25	福岡	ゆめの樹音楽祭実行委員会	ゆめの樹音楽祭事業	三浦 ゆかり	50
26	蛭川	蛭音コネクト	蛭音祭（ひるおんさい）事業	玉谷 正幸	52
27	蛭川	蛭子座友の会	蛭子座の積極的活用推進プロジェクト事業	山岡 英二	54

■立ち上げ部門

No.	地区	団体名	事業名	代表者	ページ
1	坂本	エプロンシアター ロンロン会	エプロンシアターを活用した地域福祉事業	梶村 明子	56

令和 1 年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	このくれきしべんきょうかい		地域名	子野区	地区		
	子野区 歴史勉強会		会員数	7	7 人		
ふりがな 代表者名	はら いつろう		延べ 参加人数 内(会員数)	150 人(85 人)			
	原 逸郎			石仏群及び覚明神社の清掃活動は、喜楽会(老人会)を中心に活動した			
事業名	子野区 歴史勉強会						
総事業費 内(補助金額)	270,389 円 (200,000 円)		実施期間	2019 年 6 月 1 日から 2020 年 2 月 28 日まで			
事業 分類	番号	②		活動 分野	番号	⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業				⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業 内容	事業の目的						
	1.子野区に昔から住んでいる方たちが、祖先から受け継いだ「地域の昔ばなし」や写真・書物などを参考に子野の歴史を記録に残す						
	2.子野区の歴史を継承できる冊子作成する						
	3.区民に冊子を参考に勉強会を開催する						
	具体的な活動内容						
1. 1回/月勉強会を開催し項目毎に資料を作成した							
2. 3年間子野の歴史を調査しまとめた資料で冊子を作成した							
3. 歴史建造物の清掃・整備を継続実施した(2回/月実施)							
主な活動の流れ							
<p>4月 6月 8月 10月 12月 2月</p>							
具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)							
1.冊子の作製経験のないものばかりで、まとめ方が分からなかった							
2.民話に出てくる「あざ岩、覚明神社(日ノ出町)、はだか武兵の写真を撮りに行った							
3.各自のパソコンソフトが違い、最後の冊子編集に苦勞した							
4.子野の歴史・文化をまとめることにより、初代子野に住む人たちの苦勞を知ることができた							
今後の展開(自立に向けた活動)							
1.制作した冊子を有効利用して、子野の歴史伝承を進めていく							
2.弘法大師の祭り、宮田(みやでん)等を守っていく							
3.子野区にある建造物、石仏の整備、清掃活動を継続する							
4.海外の観光客に説明できる要員を育てる(検討中)							
5.冊子を活用して、子供たちに歴史を伝承する							

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

民話のあざ岩 (銭亀)



はだか武兵の神社



1回/月の勉強会



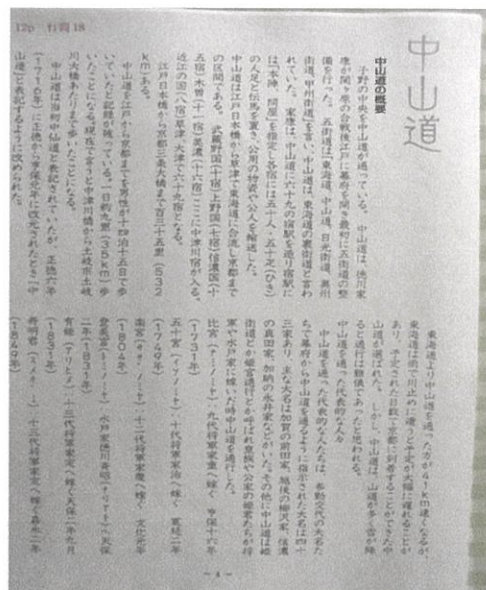
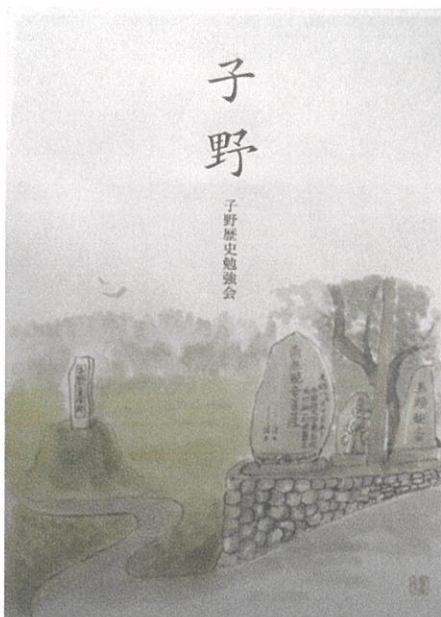
冊子編集打ち合わせ



定期勉強会 子野区クラブ 打ち合わせ 計5回 中央ユニオン印刷

各自に宿題を出し、各自作成した資料を検討した。

作成完了した冊子



令和元年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	なかむらくえぬえむあーる23		地域名	中津		地区	
	中村区NMR23		会員数	23		人	
ふりがな 代表者名	あだちみのる		延べ 参加人数 内(会員数)	23 人(202 人)			
	足立稔			販売先(マロンパーク、にぎわいプラザ、 地元)毎回完売			
事業名	中村区マロンパーク商店		実施期間	20 19 年 6 月 1 日から 20 19 年 12 月 10 日まで			
総事業費 内(補助金額)	318,007 円 (200,000 円)						
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号 ⑦			
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流			
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育			
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他					
事 業 内 容	事業の目的						
	高齢者の生きがいとして他人とのつながりが有りそんな中で、中津川市マロンパーク栗園来園者が多くは市外・県外の方です。 1時間程度のクリ拾い楽しまれ帰られ、そんな中もっと地元栗PRで楽しんで頂きたい思いと高齢者の活躍出来る場の提供から栗園とタイアップして栗を使った商品(栗おこわ)を園内で販売、PRを行う。						
	具体的な活動内容						
	①商品内容検討(昨年の菓子まつり、近隣の菓子屋さん、友達情報活用) ②具体的商品(栗おこわ)の仕様に付いて検討 ③製造場所に付いて保健所への問い合わせ、立ち合い検査確認 ④栗おこわ試食会実施(1)(2)(3)・・・品質安定化に向け全員で各工程の勉強会(ビー紙に作業内容掲載) ⑤栗園テント設営、テント内準備 ⑥にぎわいプラザ内販売に向け準備 ⑦販売拡大に向けアイデア出し						
	主な活動の流れ						
	出店内容検討		営業申請	栗園開園・商品販売			
			試食会	反省会	9/7.8.10.14.15.16.21.22.23.28.29.営業 10/5.6で営業		
4月	6月	8月	10月	12月	2月		
具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)							
①メンバーでシフトを組み7時30分出勤(クラブへ)でも、弁当持参で昼食後の時間で笑いが増えた。 ②栗の成熟時期が今年は遅く、栗確保が苦労した。 ③商品「栗おこわ」が売り切れにしても追加製造出来ずお客様から小言有り(餅米の仕込みが前日で即対応は出来ない) ④商品の販売数が天候に左右されるため台風発生で食材仕込み量の確認に苦労する。 ⑤前尾鳩区長(酒井)のナス野菜の販売を2回行い安いことも有り客寄せ効果有り。							
今後の展開(自立に向けた活動)							
①メンバーの中から野菜販売頂き集客UPを図る。 ②平日営業に向け、栗園との連携して観光バスお客様へのPR販売を図り販路拡大。 ③自然相手の栗収穫で確定出来ず、前年栗を保管して、初回、2回程度使用して商品の均一化を図る。							

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



メンバーで商品の構想検討会



マロンパークにて
観光協会と打ち合わせ
テント販売の場所
テント設営時期
営業期間



最終商品試食会
栗、調味料、蒸し時間、パック容
量、見栄え、等の確認



栗園オープンイベント
で南さくら保育園園児
に栗おこわをプレゼン



駅前の特産館で栗おこわ販売
を行う

栗園のテント前で栗おこ
わをメンバーでPR。



(令和1)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	なかむらくこそだてさろん		地域名	南		地区																														
	中村区子育てサロン		会員数	毎回23人～35人参加		人																														
ふりがな 代表者名	まえおかまさあき		延べ 参加人数 内(会員数)	803 人(180 人)																																
	前岡雅章			子ども・・・325名 親・・・298名 スタッフ・・・180名																																
事業名	中村区子育てサロン																																			
総事業費 内(補助金額)	110,611 円	(97,600 円)	実施期間	令和 元 年 6 月 1 日から 令和 2 年 3 月 20 日まで																																
事業 分類	番号	1		活動 分野	番号	1																														
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流																																	
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業		⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育																																	
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他																																		
事業 内容	事業の目的																																			
	若い母親への子育てサロン参加により、経験豊富な指導者がアドバイスする中で母親のストレス解消を図る、加えて幼児同士で遊ぶ中で集団行動が出来る子供を育てる。																																			
	具体的な活動内容																																			
	①毎月1回中村クラブにて2～3時間サロンを開催する。 ②子育てサロン通信発行。 ③季節(七夕・お月見・運動会・クリスマス・節分など)に合わせて簡単工作で時期を感じてもらう。																																			
	主な活動の流れ																																			
	<table border="1"> <tr> <td colspan="6">準備(各開催日の前週に2～3時間)</td> </tr> <tr> <td>サロン開催日</td> <td>18日</td> <td>16日</td> <td>17日</td> <td>15日</td> <td>11日</td> <td>17日</td> <td>18日</td> <td>17日</td> </tr> <tr> <td colspan="6"></td> <td colspan="2">子育て通信発行</td> </tr> <tr> <td>4月</td> <td>6月</td> <td>8月</td> <td>10月</td> <td>12月</td> <td>2月</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>						準備(各開催日の前週に2～3時間)						サロン開催日	18日	16日	17日	15日	11日	17日	18日	17日							子育て通信発行		4月	6月	8月	10月	12月	2月	
準備(各開催日の前週に2～3時間)																																				
サロン開催日	18日	16日	17日	15日	11日	17日	18日	17日																												
						子育て通信発行																														
4月	6月	8月	10月	12月	2月																															
具体的な活動成果(失敗や苦勞したこともご記入ください。)																																				
①サロン準備10回、サロン10回、人形劇練習3回(メンバー全員の日程調整で苦勞) ②通信発行10月 ③地元保育園との交流会(ミニ運動会)では時間通り進行出来ず予定がオーバーとなる。 ④2月・・・今回初めて吊るしびな作成挑戦したが、準備に時間を要した 又、コロナウイルス流行に消毒作業に敏感となる。																																				
今後の展開(自立に向けた活動)																																				
①現在4名の運営リーダーを増やし、一人一人の負担を軽減して活動の継続化を図る。																																				

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

人形劇の練習風景

出来栄え良く出前講演しますよ



近くのこばと保育園で交流会
での風景
子どもの目の輝きは良かった



10月ミニミニ運動会風景

11月こばと保育園園児との交流会



←2月作成吊るしびな



(令和元)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	よつめがわの さくらと かんきょうのかい		地域名	実戸		地区	
	四ツ目川の桜と環境の会		会員数	14		人	
ふりがな 代表者名	つげ たつお		延べ 参加人数 内(会員数)	81 人(53 人)			
	柘 植 龍 雄			・6月 桜への施肥:5(5)人 ・7月 子供会ますつかみ会場整備:9(5)人 ・11月 桜の整備:2日間延28(18)人 ・2月 桜の写真展入場:3日間延10(10)人 ・3月 桜の整備:2日間延29(15)人			
事業名	四ツ目川の桜と環境の整備		実施期間	令和元年6月1日から 令和2年3月8日まで			
総事業費 内(補助金額)	120,005 円 (100,000 円)						
事業分類	番号	①	活動分野	番号	③		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流			
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育			
③前の二つの他、地域づくりの進展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業内容	事業の目的						
	四ツ目川の桜は、植林されてから70年が経過し老木化しており、倒木の可能性もあり、護岸の環境も不備な状況であります。 1. 桜の木の整備と肥料散布による桜の木の老木化低減を図る。 2. 四ツ目川の景観を良くして、防災・防犯向上を図る。 3. 年2回見回り、危険個所のチェックを行う。 4. 区民の桜を考える機会と啓発の為、四ツ目川の桜の歴史と桜の写真展を開催する。						
	具体的な活動内容						
	・四ツ目川の桜への施肥		・桜の枝打ちと河川敷の草刈り				
	・子供会の「ますつかみ大会」の為の河川敷整備		・桜の写真展				
	・桜の見回り						
	主な活動の流れ						
		桜への施肥	子供会の「ますつかみ大会」の為の河川敷整備	台風後の桜の見回り	桜の枝打ちと河川敷の草刈り	桜の写真展	桜の枝打ちと河川敷の草刈り
		6月	7月	8月～10月	11月	2月	3月
	具体的な活動成果(失敗や苦勞したこともご記入ください。)						
昨年度は国道19号より下流域の整備を行ったので、今年度は上流域の整備に取り組んだ。朽ち落ちる危険のある枯れ枝の切除、幹を締め付けている頑固なツルを取り除く作業は思いのほか大変であった。 切り落とした枝をボランティア袋に詰め込む作業は、思った以上に重労働であるので、今年度はダンプカーを手配して直接環境センターへ運び込んだ。 桜の写真展は好評を博し、恵峰ホームニュースに掲載された。							
今後の展開(自立に向けた活動)							
雑草や桜の脇枝は直ぐに伸びるので、定期的・継続的な粘り強い整備活動が必要である。整備作業に関して区民に認知されてきたので、今後は更なる参加者増に向けて、実戸区役員とも連携して活動の定着化を図り、住みよい地域づくりを推進していくこととする。							

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



左:施肥、令和1年6月実施
グリーンパイル50本打ち込み

下:整備作業への参加者の皆さん
令和1年11月&令和2年3月実施



左:桜の木に巻き付いたツルを取り除いている様子
左下:桜の脇枝を切り落とす様子

下:切り落した脇枝をダンプに積込む様子
→脇枝は環境センターへ



けいほうホームニュース 令和2年2月15日(土曜日) (2)



左:写真展模様
(中央公民館ロビー)

右:恵峰ホームニュースに掲載
(令和2年2月16日発行)



ふりがな 団体名	なえぎじょうあと なえぎとおやましりょうかんとものかい 苗木城跡・苗木遠山史料館友の会	地域名	苗木地区	
ふりがな 代表者名	そばじま よしお 傍島 善雄	会員数	76人	
事業名	苗木城跡を核とした 苗木の歴史伝承事業	延べ 参加人数 内(会員数)	327人 4月 6人 5月 19人 6月 14人 7月 63人 8月 47人 9月 22人 10月 29人 11月 43人 12月 23人 1月 26人 2月 31人 3月 4人	
総事業 費 内(補助金額)	214,155円 (200,000円)	実施期間	平成31年4月10日 令和 2年3月2日	
事業 分類	番号	2	番号	4
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業 ②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業 ③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他	

事業の目的

事業の目的と具体的な内容

近年「苗木城跡」は来城者が急激に増えています。しかし、苗木まちづくり協議会のアンケートでも指摘された様に、地元の関心度が低く、何らかの対策の必要性を感じています。

- 1 苗木地区・苗木城跡を中心として、歴史的遺跡の案内及び説明用看板の設置
- 2 小・中学生向きの、分かり易い冊子・パンフレットづくり
- 3 苗木城跡の草・木・竹の伐採、環境整備

具体的な活動内容

- 1 苗木城跡に観光に見える方(特にバス・徒歩向け)に看板を設置
○ 北恵那交通苗木バス停(丸市食堂前)から苗木城跡までの看板。苗木城跡からバス停までの看板。玉蔵橋から苗木城跡までの看板、大手門跡から玉蔵橋までの看板の設置
- 2 苗木城跡・苗木に関するカルタづくり
- 3 苗木城跡の草刈り、清掃

主な活動の流れ

打合せ日	18・19	9・22	13	11	2	4	10・22	2	5	9	3	
	22・23	24		他5回	他6回	他5回		他5回	他5回	他5回	他4回	
看板立て日								5・6	13			2
事務処理日	10・15			17・18	6	13	26・27	29・30	16・17	28・29	16・17	
	22				他4回					30	18・19	
草刈り日				4			10					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)

- 1 苗木城跡に歩いて来られる方が道によく迷ってしまう、という声をよく聞いていました。看板設置を検討する段階で、地元の人達も「苗木城はどちらか」とよく聞かれるとのことでした。今回の看板設置で少しは解消されたと思います。苦労したことは市道の付近は設置が許可されず、また市・県・関西電力さんとの打合せが必要になり、思いの外時間がかかりました。 看板設置17か所 19枚
- 2 小学生・中学生向きの冊子づくりは、本よりカルタの方がとの考えからカルタづくりに決定。今年度は「句」の募集を行い、来年度完成を目指す予定です。応募総数460首 (含、中学生48首 高校生8首) 電話・FAX・ネットからの応募が、沢山ありました。

今後の展開(自立に向けた活動)

- 1 これからも観光に来られる方の声をきいて、必要なら看板の設置を検討したいと思います。
- 2 次年度はカルタを完成させる予定です。カルタの絵の作者を決め、44枚の絵を作成。
- 3 がんばるサポート事業は苗木城や歴史について関心度を高めることです。カルタを苗木にどのように普及させることができるか、また小学生・中学生にどのように対応するか、課題は沢山ありますが、友の会に対応していきたいと思っています。

活動状況写真等（6枚程度添付し、コメントを添えてください）



看板設置場所調査

令和1年7月

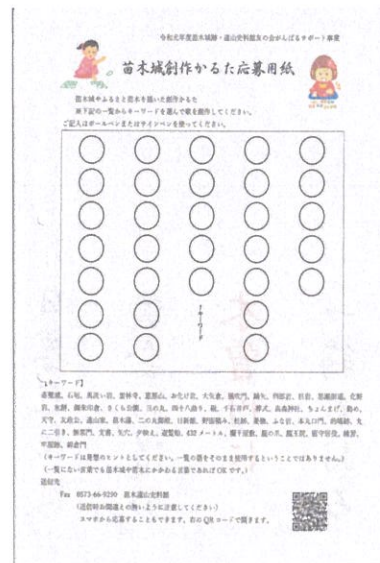


令和1年8月



カルタ作成会議

令和1年7月



カルタの句 募集



令和1年11月5日

本町会館前



玉蔵橋付近

(令和元)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	なえぎまちきょう よあけのもりいんかい		地域名	苗木	地区		
	苗木まち協 夜明けの森委員会		会員数	15	人		
ふりがな 代表者名	ささき たかし		延べ 参加人数 内(会員数)	156 人(76 人)			
	佐々木 孝			4月10(10)人 5月7(7)人 6月7(7)人 7月19(19)人 8月4(4)人 9月5(5)人 11月89(9)人 12月~2月15(15)人			
事業名	夜明けの森活性化事業						
総事業費 内(補助金額)	200000 円 (200000 円)		実施期間	平成 31 年 4 月 22 日から 令和 2 年 3 月 2 日まで			
事業 分類	番号	②		活動 分野	番号	③④	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			活動 分野	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業				⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業の目的							
<p>高峰湖を中心とした素晴らしい景観を維持し、地内をめぐる遊歩道の保守点検、また地内に植栽された多種類の樹木や生息する希少植物、昆虫などの保護を通してこの地域の良さを広く区民、市民に紹介し、四季を通じて市民の憩いの場としての定着を図るため以下の活動を推進する。</p> <p>①夜明けの森の景観維持と遊歩道の整備等の環境整備事業 ②夜明けの森を会場とした各種イベントの開催の推進 ③夜明けの森の紹介と案内マップの作製</p>							
具体的な活動内容							
<ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道の整備、破損木製フェンス撤去とトラロープ張り ・芝生広場の草刈り 高峰湖周回コースの草刈り ・さつきの剪定、高峰山荘周辺の雑木の伐採 ・視察研修 陶史の森、竜吟の滝(15名の参加) ・周回コース 堤防から勝美池までの草刈り ・管理等周辺の草刈り、夜明けの森委員会イベント「木で遊ぼう」の開催準備 ・「木で遊ぼう」(鉱物博物館無料デーに協賛) 丸太切コースター作り、バードコールの作製、木製遊具での遊び ・2年目に向けての構想の検討特別委員会の開催 ・レジストロ公園の整備、ジュ国の伐採と表稚樹国の片付けと草刈り ・2回目の芝生広場、管理棟、周回コースの草刈り ・テニスコート前から菖蒲池までの草刈り 							
主な活動の流れ							
事業 内容	環境調査	さつき剪定	草刈り	イベント準備	イベントの反省	2年目の構想検討	
	草刈り(芝生)	視察研修	草刈り	草刈り	小委員会の設立		
	片付け(公園)	さつき剪定	草刈り	会場準備			
	草刈り(コース)	草刈り(コース)		イベントの開催			
	4月	6月	8月	10月	12月	2月	
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)							
<ul style="list-style-type: none"> ・芝生広場はここ数年手が入っていなかったので雑草が生い茂っていたがすっきりした。名古屋市野外教育センターの児童が利用するので鉱物博物館からは感謝された。 ・遊歩道も雑草が茂っていたのでとてもきれいになった。出会った人たちには感謝された。 ・レジストロ公園も倒木で雑然としていたが以前のように整備された。 ・遊歩道の木製フェンスがかなり破損していたがトラロープを張ったりして危険がなくなった。 ・「木で遊ぼう」の取り組みは会場が分かりにくいところだったが参加した人たちはとても喜んでいた。 							
今後の展開(自立に向けた活動)							
<ul style="list-style-type: none"> ・初年度は手が入らなかったが、高峰湖周辺の樹木が育ちすぎ景観が悪くなっているので順次伐採して景観を取り戻したい。また、植栽した樹木手入れ等も行いたい。 ・マウンテンバイクのコースやハイキングウォーキングなど夜明けの森を会場とした定期的な催しを関係機関との連携して行いたい。 ・鉱物博物館と連携しながら夜明けの森を木育等の学習の場として活用することを考えたい。企業とも連携して市民の憩いの場として整備を行いたい。 							

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)

令和元年5月22日(水) 8時~11時 7名

レジストロ公園の伐採木の片付け及び雑木伐採、周辺の草刈り



令和元年7月12日(金) 9時~15時 15名参加 令和元年7月17日(水) 8時~11時

陶史の森、竜吟の森の視察

環境整備・さつき等の剪定作業



令和元年8月29日(木) 8時~11時

草刈り作業 (堤防から菖蒲池までの高峰湖周回コ



(令和元)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	さかもとをもっともりあげようかい		地域名	坂本	地区
	坂本をもっと盛り上げよう会		会員数	8	人
ふりがな 代表者名	しのはらいこう		延べ 参加人数 内(会員数)	68 人(56 人)	
	篠原郁郎				
事業名	リニア時代を迎えて、「みんなで坂本を盛り上げる事業				
総事業費 内(補助金額)	208,000 円 (200,000 円)		実施期間	令1 年 7 月 1 日から 令2 年 3 月 15 日まで	
事業 分類	番号	2		番号	4
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流	
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業 ③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他	
事業の目的					
具体的な事業 1. 坂本の歴史を知り、良いところをもっと知ろう 2. 中山道を歩く目線で、楽しめる情報を提供する。 3. 市内他地域との情報交換会を企画、開催する。今年度と来年度は中山道の案内看板を立てる。					
最近は、外国の方々が多く歩いておられるので、英語表記を重視し、名所旧跡のみでなく、付近の特徴や、遠景の山や、これから発展する情報なども取り入れる。実際に歩いて取り上げる対象やそれらの距離等の、歩く上で重要な情報なども取り入れる。写真のみでなく、イラスト化して、従来にない情報提供法を取り入れる。					
事業 内容	主な活動の流れ				
	◎構想、具体案の検討開始		◎体制の組立		
			◎看板の大まかな案がまとまる		
				◎図案作成と各情報の集約・書込み作業	
				◎手描きからデータ化、改変作業	
	4月	6月	8月	10月	12月 2月
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)					
構想はあっても、従来の発想を変えた文面作りの議論が纏まるまで多くの時間を要した。どのアイデアを盛り込むか取捨選択にも時間と労力を要した。日本語の項目を外国目線の英文で表現し、それらの絵図をエクセルで看板原稿に仕立て上げるのにも、写真をイラストにしたり、記号や距離等々の書き込む情報が多く、画面作りに苦労した。西からと東からの歩行者目線での書き方にも多くのアイデアを盛り込んだ。結果、かなりの効果があった。					
今後の展開(自立に向けた活動)					
今年度の成果を踏まえ、来年度以降は、その完成度を上げ、次には個別の文物の看板を作る。またホームページへの情報提供を続け、QRコードを看板に追加して貼る作業等、来年度、再来年度の作業構想は、目白押しで、会員一同気を引き締めて頑張る所存です。					

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動写真の一部

令和2年がんサポ資料



協力力会員を交えた編集会議



個別編集会議



ルートの距離測定開始

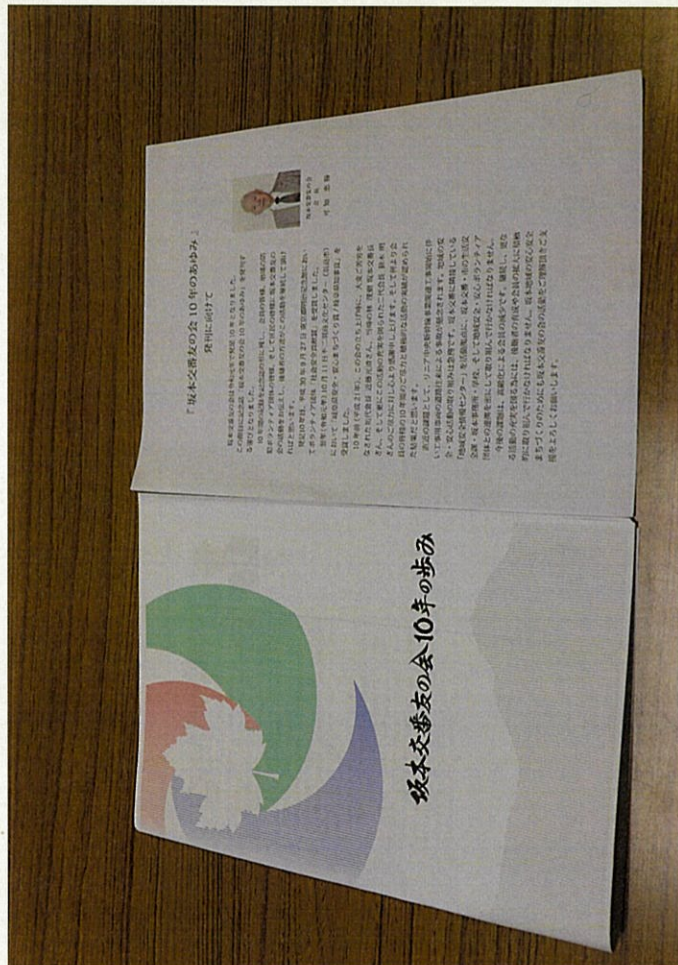
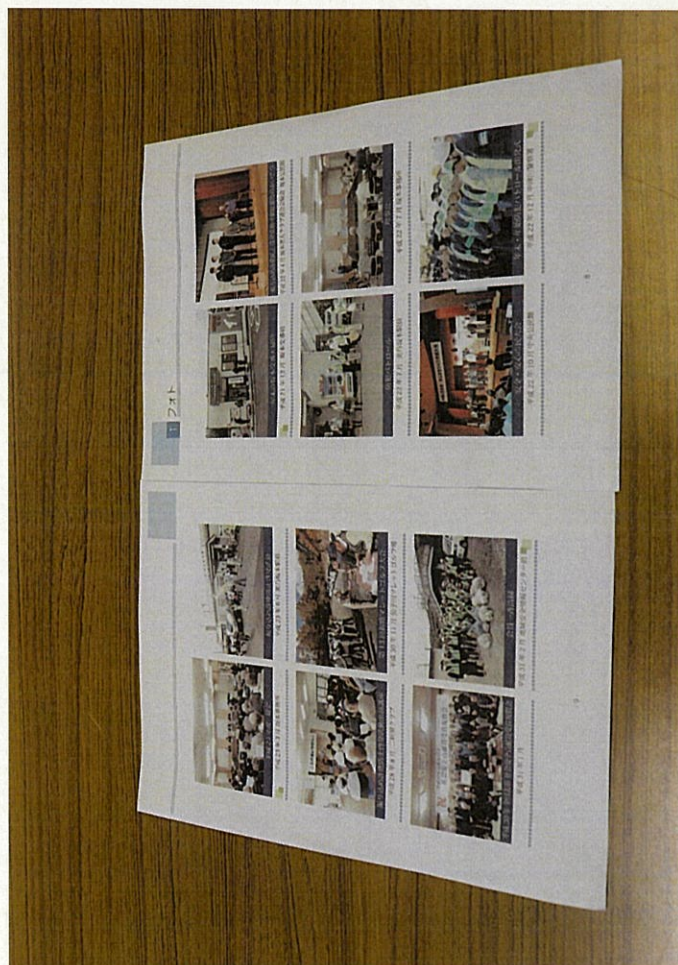
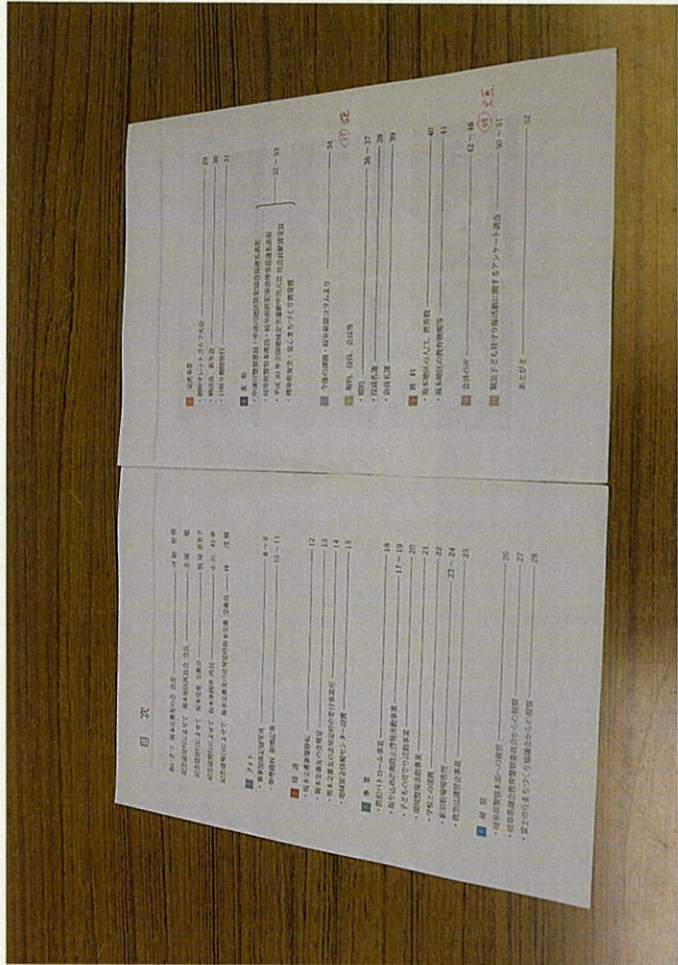


広久手から旭まで歩いて距離測定



令和元年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	さかもとこうばんとものかい		地域名	坂本	地区	
	坂本交番友の会		会員数	77	人	
ふりがな 代表者名	かちただかつ		延べ 参加人数 内(会員数)	人(875 人)		
	可知 忠勝			<ul style="list-style-type: none"> ・編集会議 175人 ・活動参加約700人 		
事業名	坂本交番友の会発足10周年記念誌 作成事業		実施期間	令和 元 年 5 月 29 日から 令和 2 年 3 月 20 日まで		
総事業費 内(補助金額)	400,000 円	(200,000 円)				
事業 分類	番号			番号		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他		
事業 内容	事業の目的					
	<ul style="list-style-type: none"> ・H21年5月に当会が発足し、今年度10年を迎えた。 ・H30年度9月に全国地域安全運動中央大会で功労ボランティア団体として社会貢献賞を受賞。 ・防犯パトロールや子どもの見守り活動、振り込め詐欺防止啓発活動など取り組んできた活動を記録とし残し、地域の皆さんが犯罪や事故を未然に防止することや安全に対する関心を持ってもらい、地域の犯罪防止機能を高めたい。 					
	具体的な活動内容					
	<ul style="list-style-type: none"> ・発足10年の節目に記念誌発行(編集委員会を設置して委員会25回開催) ・毎月第1水曜日に 地域情報安全センターで四役会開催。年12回 ・隔月の第2火曜日に理事会開催。年6回 ・交番と連携者した防犯パトロール(学校周辺、駅前公園を週3回実施) ・振り込め詐欺防止啓発運動(JA金融機関等で年6回実施) ・子どもの見守り活動(年6回実施) 					
	主な活動の流れ					
		4月	6月	8月	10月	12月
						2月
	具体的な活動成果(失敗や苦勞したこともご記入ください。)					
	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き令和元年10月にボランティア賞「岐阜県安全・安心まちづくり賞受賞」 ・地域のみなさんの防犯に対する関心が高まった。 ・子どもの見守り活動により児童の下校に不安解消となった。 ・子どもや高齢者など、安心して暮らせる安全な地域となった。 ・年金支払日に振り込め詐欺防止活動は効果抜群。 ・小学校の下校時間把握が今後の課題である。 					
今後の展開(自立に向けた活動)						
<ul style="list-style-type: none"> ・10周年を迎え記念誌発行することにより会員のモチベーションを更にアップしたい。 ・会員の高齢化により新会員を募集していく。区長会に呼び掛け。 ・坂本地区で始まる大型事業への対応(児童高齢者の安全対策) ・交番と同会が連携した安心安全なまちづくりを行っていく。 						



(2019)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	つるしひなこうざ はなごよみ		地域名	坂本		地区	
	つるし雛講座 花ごよみ		会員数	52		人	
ふりがな 代表者名	たにぐち みつこ		延べ 参加人数 内(会員数)	人(人)	
	谷口 美津子						
事業名	中津川のつるしひなまつり						
総事業費 内(補助金額)	231,695 円 (200,000 円)		実施期間	平成 31 年 4 月 1 日から 令和 2 年 3 月 31 日まで			
事業 分類	番号	③		活動 分野	番号	④⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流				
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業		⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育				
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他					
事業 内容	事業の目的						
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化社会に向けて、若年層を参入し教育して継続可能な「中津川のつるしひなまつり」の開催を目標とする。 ・花ごよみの拠点となる場所を設置して、メンバーとの情報交換がいつでもでき「中津川のつるしひなまつり」の開催と進行ヲスムーズにする。 						
	具体的な活動内容						
	<ul style="list-style-type: none"> ・坂本にて新講座「花みずき」を設置し、17名が新しく加わる。(他付知公民館と神坂公民館でも短期講座を開設して、ひとりでも多くの協力者を募る) ・新作つるし雛飾りの制作に加えて、共同作品「椿の花」「藤の花」を作り、つるしひなまつりを盛大に華やかに盛り上げてゆく準備が整いましたが、新型コロナウイルスの拡大に終息の目途がつかぬため、安全性を考えて中止しました。 						
	主な活動の流れ						
	東美濃ふれあいセンター会場申込 がんばるサポート 事業に申請	公民館講座を新規 スタート。坂本、苗 木で開催	花ごよみの拠点と なるアトリエの着工 実行委員会を立ち 上げる	「中津川のつるし ひなまつり」の開 催に向けて具体的 な内容の打合せ	東美濃ふれあいセ ンターの会場費が 高額で会場の変 更。苗木交流セン ターへ移行	作品の完成 会場のレイアウト チラシ・ポスターの配布 プレゼント作品の制作 (コロナウイルスにより中止)	
	4月	6月	8月	10月	12月	2月	
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)							
<ul style="list-style-type: none"> ・新規講座をスタートして、新しく受講生に教える難しさを改めて実感する。 ・ひとつひとつの飾り物が完成してゆく喜びを共に味わいながら、お隣り近所とは異なる仲間意識が生まれ、助け合い、向上し合うコミュニケーションの場として有効であった。 							
今後の展開(自立に向けた活動)							
「中津川のつるしひなまつり」が中津川の各地と連携して、同時に開催し中津川市の名物、観光として認知していただけるように努力して参ります。あちこちで小さな展示会を開催し、多くの方達にふれあってもらい、子供から大人、老人達にも知っていただきたいと願います。							

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください



にぎわいプラザに展示



坂本郵便局に展示



中津川のつるしひなまつりの拠点

「花ごよみ庵」は大盛況です

お祭りに向けて、会議を重ねて頑張ってきました。



神坂 つるし雛講座 短期講座開催
神坂・馬籠地区から10名参加
神坂公民館にて



花ごよみ庵は、創造の場、皆の憩いの場、発展の場、

ふりがな 団体名	いのちをつなぐもりづくりの会	地域名	坂本	地区
	命をつなぐ森づくりの会	会員数	9	人
ふりがな 代表者名	たなか こういち	延べ 参加人数 内(会員数)	190 人(17 人)	
	田中 孝一		めぐみ保育園 にしこまの森こども園 坂本さくら保育園 坂本保育園 坂本幼稚園の年長園児 130名 杉の子幼稚園年中園児 60名(自園車使用) その他遠足として坂本幼稚園の年中・年少園児、杉の 子幼稚園年少園児が訪れ自然とふれあう。	
事業名	命をつなぐ森づくり			
総事業費 内(補助金額)	225,000円 (200,000円)	実施期間	平成31年4月1日 令和元年10月31日	

事業 内 容	事業の目的						
	2016年に閉鎖されたゴルフ場跡地を、敷地所有者と地元の園児が協同して自然の森に還す活動を一昨年から始めました。敷地内で様々な種類のどんぐりを拾い、芽吹かせ、数年かけて大きくなった苗木を植樹します。園児がこの活動を経験することにより「命をつなぐ」ことを学び、自然に触れあうなかで命の大切さ知り、心豊かに成長してくれることを願っています。また、園児が成長した時に、自分が植えた木々が大きくなって、人々や森の動物たちの憩いの場所となっていれば大きな喜びを感じ、郷土愛をさらに増してくれることと思います。						
	具体的な活動内容						
	坂本地域の子供が主に通園する5ヶ所の保育園、幼稚園、こども園と参加希望のあった1園が3日間に分けて活動した。①敷地の説明、森に還すことの大切さの説明 ②敷地内でどんぐり拾い ③拾ったどんぐりをポットに蒔く(ポットの管理は銀の森が行い、ポット1個と拾ったどんぐりは各自園に持ち帰る) ④自然のなかで昼食 ⑤森やどんぐりに関する絵本の読み聞かせ ⑥敷地内を散策						
	主な活動の流れ						
		参加希望園の募集と実施予定日聞取り 貸切バスの予約 スケジュール調整		3日間に分けて実施 敷地の草刈り等整備 警備、読み聞かせボランティア依頼			
		4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)							
毎年、各園では園児を連れてどんぐり拾いに出かけますが、道中での交通事故の心配や、拾う場所を探すのに苦労しているとの事です。本活動のフィールドではそうした懸念がなく、園児が安心してどんぐり拾いを楽しめ、自然にふれあえると好評です。当初予定していた5園の年長園児のほかに、坂本幼稚園の年中・年少園児や杉の子幼稚園の年中・年少園児が希望して訪れてくれた事にも現れていると思います。フィールドで拾ってきたどんぐり、松ぼっくり、枯れ枝を用いた園での工作指導は資金面から今年は断念しました。							
今後の展開(自立に向けた活動)							
植樹した木々が成長して、人と自然が共生できる憩いの森になるまで活動を続けて行きたいと思いますが、活動資金を継続して確保できるのか懸念される。自園で交通手段を確保できる園のみが参加する活動ではなく、坂本地域の園児が等しく参加でき、自然を楽しめ、学習できるものとした。さらには、坂本地域以外の希望する園を受け入れる体制も敷地所有者と協議しながら整える必要が生じる可能性もあるが、ボランティア活動のみで対応することは困難に思われる。							

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください



貸切バスで到着



記念写真撮影



説明



どんぐり拾い



ポットに種蒔き



昼食



絵本読み聞かせ



散策

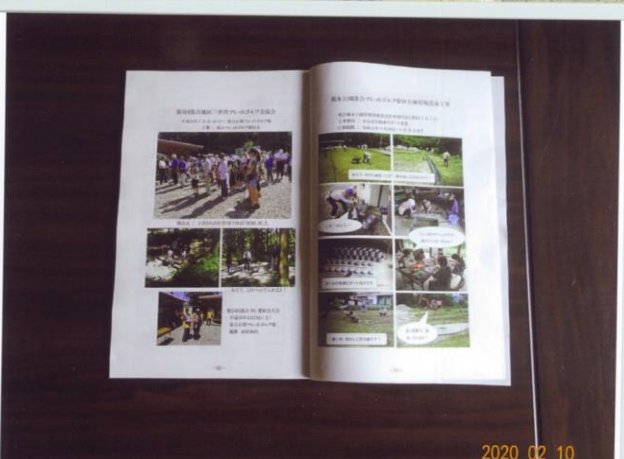
(令和元)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	おちあいまれとごるふあいこうかい		地域名	落合	地区		
	落合マレットゴルフ愛好会		会員数	103	人		
ふりがな 代表者名	いぐち あつし		延べ 参加人数 内(会員数)	2,809 人(2,257 人)			
	井口 篤			親水公園整備301人、記念誌編集115人、3大会155人、 月例会580人、三世代交流会68人、定期練習 437人 中学生と交流会66人、落合宿大会197人、 石畳コース清掃470人、その他大会420人			
事業名	マレットゴルフの普及を通して高齢者の居場所と健康づくり事業						
総事業費 内(補助金額)	407,627 円 (200,000 円)		実施期間	令和 元 年 5 月 27 日から 令和 2 年 3 月 31 日まで			
事業 分類	番号	②		活動 分野	番号	①	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		活動 分野		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業				⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他					
事業 内容	事業の目的						
	森林を活かし、自然の中で手軽に子どもから高齢者まで、個々の技量のできるマレットゴルフを、落合石畳マレットゴルフ場や親水公園練習場を活用し、歩きながら、笑いながら楽しむ地域の活性化、健康づくり、高齢者の福祉健康づくりに寄与することを目的とする。						
	具体的な活動内容						
	・月例会、3大大会、落合宿春季・秋季大会、三世代交流会、を開催し、子ども達や落合地区だけでなく広く他の地域の多くの方たちと交流する事ができた。 ・親水公園の再整備ができた。 ・当会の10周年の記録を記念誌として発行できた。						
	主な活動の流れ						
		第24回大会、親水公園MG練習場造成作業	落合宿春季大会、月例会、定期練習、清掃、親水公園MG練習場造成作業	親水公園MG練習場完成、第25回大会	落合宿秋季大会、体協落合支部MG大会、月例会、定期練習、清掃	第26回大会、中津川市議会議長杯、月例会、記念誌の編集	記念誌完成、月例会、石畳MG場清掃
		5月	6月	8月	10月	12月～	2月
具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)							
・月例会の活性化による会員の交流促進を図るとともに、神坂・山口地域の交流が広がった。 ・設立10周年記念誌発行により、地域への情報発信ができた。 ・親水公園整備により練習場のコースを造成し、初心者、子供たちも楽しめる環境づくりができた。							
今後の展開(自立に向けた活動)							
・三世代交流ふれあい事業、中学生野外学習、老人クラブ大会などの開催で、地域住民との交流を図る。 ・大会などを多く開催することにより、さらに多くの人たちがマレットゴルフを楽しめる機会を作る。							

※この様式は活動事例集として編集し自由に変更が可能です。

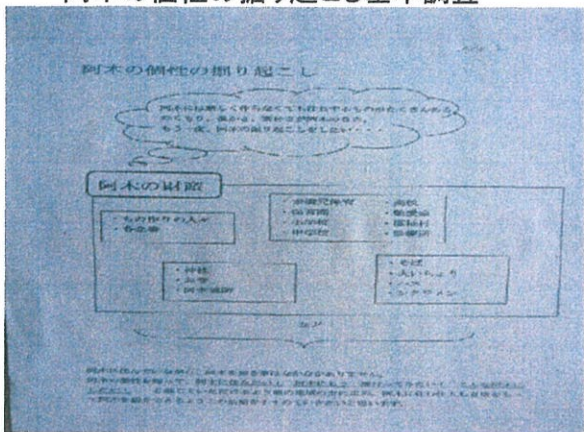
活動状況写真等（6枚程度添付し、コメントを添えてください）

親水公園整備作業風景と10年のあゆみ記念誌

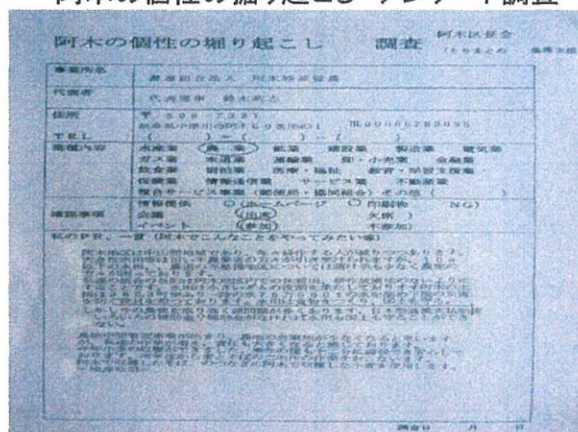


ふりがな 団体名	あぎむらづくりじゆく 阿木村づくり塾		地域名	阿木地区			
ふりがな 代表者名	すずき としゆき 鈴木 利之		会員数	15人			
事業名	阿木の個性の掘り起こしと魅力発信		延べ 参加人数 内(会員数)	60人 企業調査リスト先個別掲載確認 15名 × 2回 = 30名 冊子掲載取材及び内容確認他 5名 × 6回 = 30名			
総事業費 内(補助金額)	249,326円 (200,000円)		実施期間	令和元 年5月1日から 令和 2 年2月29日まで			
事業 分類	番号	③		活動 分野	番号	④・⑪	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流				
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業		⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育				
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業				⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業の目的							
阿木の個性の掘り起こしと魅力発信							
阿木の財産「観光・文化・特産品・もの作り(企業・個人・団体)」を掘り起こし、阿木住人はもとより、地域外の方々にも「阿木の魅力」を発信し、生活環境の充実(空き家対策・住み良い地域づくり等)を推進し地域の活性化を図るもの。							
具体的な活動内容							
阿木地域の観光・文化・特産品・もの作りについて調査(アンケート)を実施。掘り起こし調査表よりジャンル(業種別)に仕分けし、個人・団体・企業への取材。阿木の財産「観光・文化・特産品・もの作り」・魅力を、冊子にて発信。 * 阿木をもっと知ってほしくて、見てほしくて、阿木の新しい物語「阿木噺」をつめこんだ自己紹介冊子Vol.3の発刊							
主な活動の流れ							
事業 内容	阿木個性の掘り起こし・もの作り企業調査						
	冊子・マップ内容の方向性						
	* 毎月(24日)定例会時情報の共有・コアメンバーによる編成会議						
アンケート内容の集約							
取材先候補の絞り込み		ものづくり・企業リスト先掲載確認					
				取材調査	冊子発刊		
5月	6月	8月	10月	12月	2月		
具体的な活動成果(失敗や苦勞したこともご記入ください)							
1期に集落支援員の協力を得て掘り起こし調査した件数110件を、会員全員で冊子掲載についての再確認。阿木噺(Vol.3)最終年度の発刊に際し、掲載(紹介)先の選定に苦慮したが、当地域に無くてはならない「阿木高校」を紹介することで全員一致。「食と農と生活を学ぶ」として、地域との連携を重んじた活動から、学校・生徒の取組について内外に発信。先生・生徒への取材から得たものを、益々地域の連携に生かせるよう地域一丸 となってバックアップするもの。							
今後の展開(自立に向けた活動)							
阿木の個性の掘り起こし調査から情報提供・PR等を参考にし、地域の情報発信・イベント・交流(観光・文化・特産品・ものづくり等)の開催に向け更なる充実を図り、又阿木の魅力をアピールし地域の活性化に向けた活動を推進するもの。住み良い地域づくりを目指し、移住・定住推進を支援するもの。							

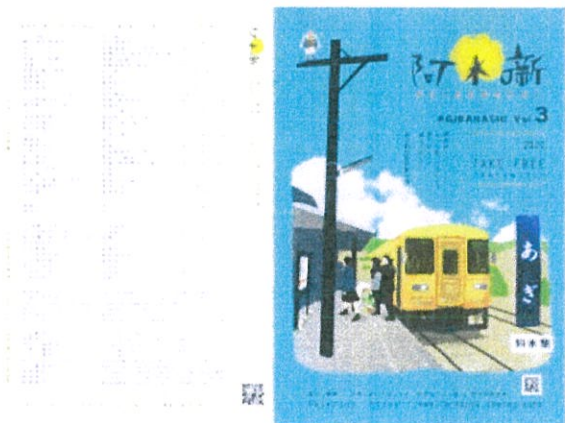
阿木の個性の掘り起こし基本調査



阿木の個性の掘り起こし アンケート調査



表紙・企業(ものづくり)・施設・文化財・遺物



阿木高校の特徴と地域連携方針



阿木高生 学校生活インタビュー・活動



阿木高生に聞いてみた事



阿木地域のイベント紹介



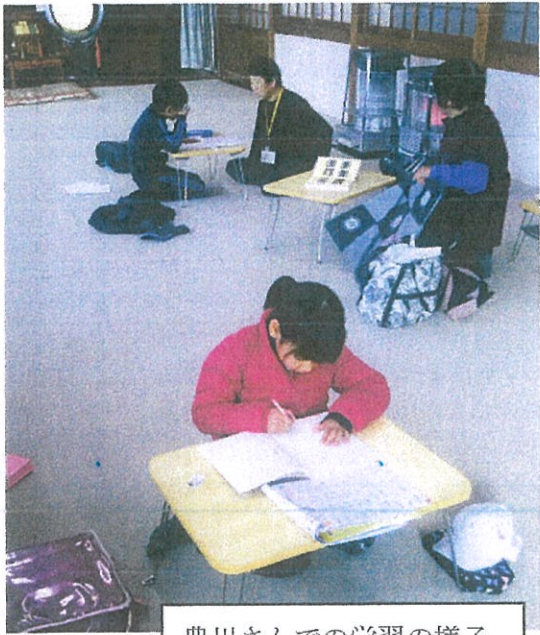
阿木・阿木特産営農の紹介



(令和元)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	こどもまもりかつどう みちくさようしつ		地域名	阿木		地区
	子ども見守り活動「みちくさ教室」		会員数	13		人
ふりがな 代表者名	すずき ひろみ		延べ 参加人数 内(会員数)	359 人(13 人)		
	鈴木 裕実					
事業名	子どもの放課後居場所づくり					
総事業費 内(補助金額)	200,293 円 (200,000 円)		実施期間	平成 31 年 5 月 1 日から 令和 2 年 3 月 31 日まで		
事業 分類	番号		活動 分野	番号		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業の目的						
阿木地域には、学童や児童センターがなく子どもたちは放課後の居場所として、お寺などを借用し、見守りサポーターを地域の方に協力していただきながら、放課後等に子ども達が安心して活動できる居場所をつくることを目的とします。又、地域の母親たちが安心して働きたいとの思いを実現することで、子育てしやすい地域づくりを目指します。						
具体的な活動内容						
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に向け説明や利用申し込み受付から利用者リストを作成 ・学校や関係機関との連携(学校行事等子どもたちの下校時間の把握) ・見守りサポーターの確保 ・放課後等の子ども達の学習の声かけ、見守りを行う 						
主な活動の流れ						
事業 内容	<p style="text-align: center;">●子どもたちの見守り活動 →</p> <p style="text-align: center;">●役員会の開催</p> <p style="text-align: right;">●新一年生への説明会開催</p>					
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)						
活動当初は、子ども達も見馴れない大人の人と過ごす時間に戸惑った姿があったり、静かに教室で過ごすことができないなどありました。今は、子ども達に寄り添って、見守りをしてくれるサポーターの頑張りあり、以前より室内で過ごすことができるようになりました。地域のサポーターを「アニキ！」や「先生！」と慕い子ども達も安心して過ごせる場所という認識が 出来ました。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
地域の方々の協力なしには活動できないので、保護者との連携を図りながら相互扶助の関係が地域の中ででき、子ども達が安心して過ごせる場所づくりにしていきたいと思ひます。						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください



豊川さんでの学習の様子

外で遊ぶ子どもの様子



本堂横の部屋での様子

